

改正後	改正前
<p data-bbox="302 451 862 528">災害時の避難所運営に関する 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル</p> <p data-bbox="389 991 772 1114">令和2年 6月 <u>令和2年10月改訂</u> 川崎市総務企画局危機管理室</p>	<p data-bbox="1406 451 1966 528">災害時の避難所運営に関する 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル</p> <p data-bbox="1630 544 1742 576"><u>ver. 0.1</u></p> <p data-bbox="1494 1034 1877 1114">令和2年6月 川崎市総務企画局危機管理室</p>

改正後

改正前

《令和2年10月に実施する改訂について》

「災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策マニュアル ver. 0.1」は、新型コロナウイルス感染症の全容が分からない中、手探り状態ではありましたが、国や県の指針、専門家の意見などを踏まえ、避難所での感染リスク軽減を主眼に、職員向けとして暫定的に策定しました。策定後は、更なる備えとして、「ver. 0.1」に基づき、職員研修での人材育成、避難所を使用した訓練のほか、関係局区との協議も進めてきました。

今回、これら取組での検証のほか、「ver. 0.1」策定当時と比べ、PCR検査体制の整備が進む中での、新型コロナウイルス感染症対策などを踏まえ、改訂することとしました。

なお、本マニュアルは感染症に対する解釈や検査体制などの状況変化や実際の避難所運営を通じて、明らかになった課題など、必要に応じて改訂することとしており、今回の策定をもって ver. 0.1 表記を外し、「災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を正式名称といたしません。

改正後	改正前
目次	目次
1. はじめに . . . . . P 2	1. はじめに
2. 事前準備 . . . . . P 3	2. 事前準備
3. 受付対応 . . . . . P 4	3. 受付対応
4. A (体調良好者)・B (要配慮者)・C (発熱・体調不良者)・D (濃厚接触者等)ゾーンにおける感染症対策 . . . . . P 6	4. A (健常者)・B (要配慮者)・C (発熱・体調不良者)・D (濃厚接触者)ゾーンにおける感染症対策
5. C (発熱・体調不良者)・D (濃厚接触者等)ゾーンにおける感染症対策 . . . . . P 7	5. C (発熱・体調不良者)・D (濃厚接触者)ゾーンにおける感染症対策
6. 避難者の帰宅と閉鎖時の感染症対策 . . . . . P 8	6. 避難者の帰宅と閉鎖時の感染症対策
7. 運営チェックリスト	7. 様式集
0. 開設準備編 . . . . . P 9	運営チェックリスト . . . . . P 6～P 10
1. 受付編 . . . . . P 10	避難時の健康チェックリスト . . . . . P 11
2. 運営編 . . . . . P 11	避難者シート . . . . . P 12～P 15
3. 閉鎖編 . . . . . P 14	
○ 避難時の健康チェックリスト . . . . . P 15	
○ 避難者シート . . . . . P 16～P 19	
○ 資料	8. 資料
防護衣の脱ぎ方 . . . . . P 20	災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策 Q&A
4つのお願い(ポスター) . . . . . P 23	用語集
新型コロナウイルス感染症対策 主な備蓄物資配備一覧 . P 24	防護衣の脱ぎ方
【参考資料1】 避難所における新型コロナウイルス感染症への更なる対応について (内閣府) . . . . . P 25	【参考資料1】 避難所における新型コロナウイルス感染症への更なる対応について (内閣府)
【参考資料2】 感染症対策へのご協力をお願いします (厚生労働省) . P 28	【参考資料2】 感染症対策へのご協力をお願いします (厚生労働省)
【参考資料3】 新型コロナウイルス感染症に対する感染管理 . . . . . P 29	【参考資料3】 新型コロナウイルス感染症に対する感染管理 (国立感染症研究所)
(改訂2020年10月2日 国立感染症研究所)	
【参考資料4】 新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領 . . . . . P 35	
(令和2年5月29日版 国立感染症研究所)	

改正後	改正前
<p>1. はじめに</p> <p>新型コロナウイルス感染症は、本マニュアル策定時には全容がはっきりしておらず、避難所における感染症対策としての前例がありません。しかし人命を守ることを最優先としつつ、避難所での感染リスクをいかにして軽減するかを主眼に置き、他都市との情報共有や専門家の意見を参考に、本マニュアルを策定しました。</p> <p>具体的な内容として、「3つの密」の防止対策やマスク着用、手指の消毒等の感染症対策を基本に、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 避難者、避難所運営に関わる職員等へのマスクの着用、手指の消毒等の徹底</li> <li>② 避難者に対して、受付時の健康状態に基づく専用スペースへの振り分け（案内）</li> <li>③ 避難者の症状に応じた専用スペースと複数動線（通路、階段、トイレ）の確保</li> <li>④ 避難スペースでの十分な換気及び間隔の確保</li> <li>⑤ 発熱や体調不良等の症状がある避難者等への適切な対応</li> <li>⑥ 高頻度接触部位（ドアノブ・手すりなど）の適度な消毒と避難所閉鎖時の適切な消毒</li> <li>⑦ 職員等が活動する際に、ゾーンに応じた感染防護衣の着装</li> </ol> <p>などに取り組むことで、避難所における感染リスクの軽減を図ります。</p> <p>本マニュアルは、避難所運営に従事する職員等が活動しやすいよう、運営の 카테고리ごとにチェックリストを取り入れた構成としております。本マニュアルを施設管理者等との事前協議や、既存の災害時の避難所運営マニュアルとともに活用することで、適切な避難所運営を実施いただきますようお願いいたします。</p> <p><u>なお、その他運営事項については、「川崎市避難所運営マニュアル（地震災害対策編）」、「風水害時の緊急避難場所運営マニュアル《標準例》または《各避難所版》」をあわせてご確認ください。</u></p>	<p>1. はじめに</p> <p>新型コロナウイルス感染症は、本マニュアル策定時には全容がはっきりしておらず、避難所における感染症対策としての前例がありません。しかし人命を守ることを最優先としつつ、避難所での感染リスクをいかにして軽減するかを主眼に置き、他都市との情報共有や専門家の意見を参考に、本マニュアルを策定しました。</p> <p>具体的な内容として、「3つの密」の防止対策やマスク着用、手指の消毒等の感染症対策を基本に、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 避難者、避難所運営に関わる職員等へのマスクの着用、手指の消毒等の徹底</li> <li>② 避難者に対して、受付時の健康状態に基づく専用スペースへの振り分け（案内）</li> <li>③ 避難者の症状に応じた専用スペースと複数動線（通路、階段、トイレ）の確保</li> <li>④ 避難スペースでの十分な換気及び間隔の確保</li> <li>⑤ 発熱や体調不良等の症状がある避難者等への適切な対応</li> <li>⑥ 高頻度接触部位（ドアノブ・手すりなど）の適度な消毒と避難所閉鎖時の適切な消毒</li> <li>⑦ 職員等が活動する際に、ゾーンに応じた感染防護衣の着装</li> </ol> <p>などに取り組むことで、避難所における感染リスクの軽減を図ります。</p> <p>本マニュアルは、避難所運営に従事する職員等が活動しやすいよう、運営の 카테고리ごとにチェックリストを取り入れた構成としております。本マニュアルを施設管理者等との事前協議や、既存の災害時の避難所運営マニュアルとともに活用することで、適切な避難所運営を実施いただきますようお願いいたします。</p>

改正後

改正前

本マニュアルで使用する、避難者についての定義

○濃厚接触者等・・・・・・・・

新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学的調査実施要領（令和2年5月29日暫定版。以下「調査実施要領」という）に規定する濃厚接触者（※1）及び本邦に入国・帰国後14日間を経過していない方

※1 調査実施要領に規定する濃厚接触者とは

- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等含む）があった者
- ・適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
- ・患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他：手の触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで患者（確定例）と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）

※調査実施要領に規定する濃厚接触者については、PCR検査等の行政検査の対象とされている。

※接触確認アプリ「COCOA」で通知を受けた人は、PCR検査等の対象者となるが、濃厚接触者等には該当しない。

○発熱・体調不良者・・・

濃厚接触者等以外の方で、発熱や風邪様の症状等のある体調不良者

○要配慮者・・・・・・・・

濃厚接触者等及び発熱・体調不良者以外の方で、特別な配慮を要する方例：重篤な基礎疾患のある方、要介護状態にある方、妊婦及び乳幼児並びにその家族、その他特別な配慮を要する方

ただし、本人が特別な配慮を希望せず、また、他の避難者との関係等においても特別な配慮を必要としない方は体調良好者として扱う。

○体調良好者・・・・・・・・上記のいずれにも該当しない方

改正後	改正前
<p>2. 事前準備</p> <p>避難所を運営する場合、感染リスクをいかに軽減するかが重要になりますが、そのためには事前準備が大切です。また、感染症について、正しい知識を身につけることも重要となります。</p> <p>その上で、マスクの着用など感染症対策のほか、「3つの密」の回避対策として、症状がある避難者等を考慮した、専用スペース、動線のレイアウト等について、施設管理者等と事前に協議しておくことが必要となります。</p> <p><u>なお、避難所運営を行うにあたり、感染リスクを軽減するために必要となる「新型コロナウイルス感染症対策 主な備蓄物資配備一覧」をP24に掲載していますので、ご確認ください。</u></p> <p><b>【施設管理者等との協議】</b>  校内平面図等を活用しながら、受付の設置場所や避難スペースのレイアウト、消毒液等衛生物品の配置箇所などを調整<u>してください</u>。避難スペースについては、「<u>体調良好者</u>」をAゾーン、「要配慮者」をBゾーン、「発熱・体調不良者」をCゾーン、「濃厚接触者等」をDゾーン（※地域の新型コロナウイルス発生状況に基づき確保する）として、4つの専用スペースを確保し、動線（<u>受付からの</u>通路、階段、<u>トイレへの往復</u>等）についても、ゾーンごとの<u>利用者が接触しないような設定</u>にしてください。</p> <p>※自宅療養者等の陽性者は、医療機関又は宿泊療養施設への移送を原則としていますが、<u>陽性患者数の動向によっては、やむを得ず避難所への案内もあることから、その場合の対応として、区本部（保健衛生・福祉班）の指示を受け、待機場所の設定</u>をしてください。</p>	<p>2. 事前準備</p> <p>避難所を運営する場合、感染リスクをいかに軽減するかが重要になりますが、そのためには事前準備が大切です。また、感染症について、正しい知識を身につけることも重要となります。</p> <p>その上で、マスクの着用など感染症対策のほか、「3つの密」の回避対策として、症状がある避難者等を考慮した、専用スペース、動線のレイアウト等について、施設管理者等と事前に協議しておくことが必要となります。</p> <p><b>【施設管理者等との協議】</b>  校内平面図等を活用しながら、受付の設置場所や避難スペースのレイアウト、消毒液等衛生物品の配置箇所などを調整<u>しましょう</u>。避難スペースについては、「<u>健常者</u>」をAゾーン、「要配慮者」をBゾーン、「発熱・体調不良者」をCゾーン、「濃厚接触者」をDゾーン（※地域の新型コロナウイルス発生状況に基づき確保する）として、4つの専用スペースを確保し、動線（通路、階段、トイレ等）についても、ゾーンごとに<u>設定する</u>ようにしてください。</p> <p>※自宅療養者等の陽性者は、医療機関又は宿泊療養施設への移送を原則としていますが、<u>やむを得ない場合を想定して、専用スペースは確保しておきましょう。</u></p>

改正後	改正前
-----	-----

3. 受付対応

受付は可能な限り、風雨をしのげる場所等で行いながら、感染リスク軽減対策にも取り組みましょう。

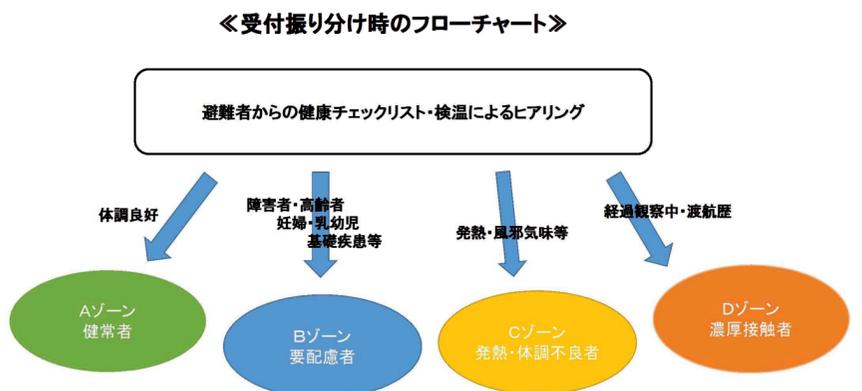
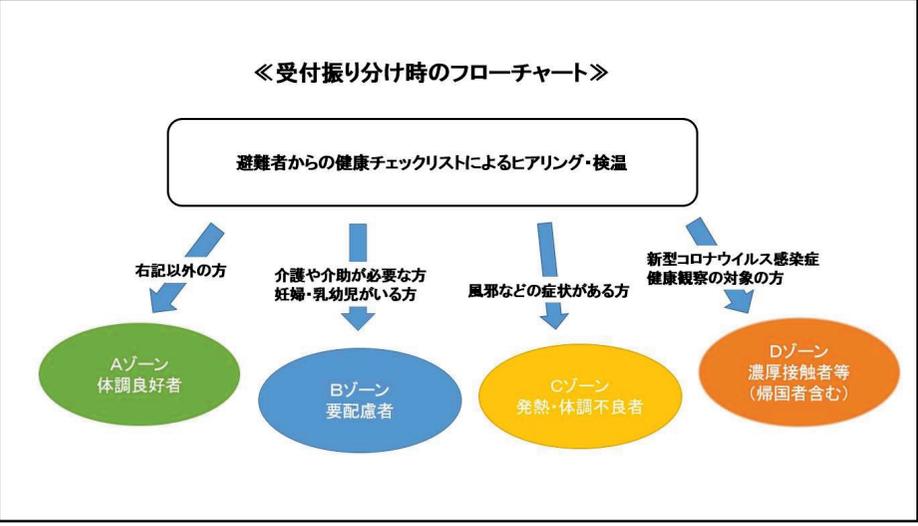
- ① 避難者に対して、マスクの着用及び手指の消毒を徹底します。
- ② 受付場所では換気を徹底するほか、可能な限りソーシャルディスタンスをとり、迅速かつ適切に避難者を受け入れます。
- ③ 避難者に対して、非接触型体温計で検温したあと、避難時の健康チェックリスト（P 1 5）に基づき、健康状態の申告を受けます。
- ④ C・Dゾーンを選択した方については、運営者が再度検温したうえで受付カードに体温を記載してください。
- ⑤ 避難者から、健康状態の申告に基づき、体調良好者、要配慮者、発熱・体調不良者、濃厚接触者等の各専用スペースへ振り分けて誘導します。その際、運営者の言動など、避難者に対する人権侵害等には十分配慮してください。

※ 避難者の雨具（カッパや傘など）に付いた水滴による感染リスクの影響は、心配ありません。

3. 受付対応

受付は可能な限り風雨を凌げる場所等で行いながら、感染リスク軽減対策にも取り組みましょう。

- ① 避難者に対して、マスクの着用及び手指の消毒を徹底します。
- ② 受付場所では換気を徹底するほか、可能な限りソーシャルディスタンスをとり、迅速かつ適切に避難者を受け入れます。
- ③ 避難者に対して、非接触型体温計で検温したあと、避難時の健康チェックリスト（P 1 1）に基づき、健康状態の申告を受けます。
- ④ C・Dゾーンを選択した方については、運営者が受付カードに体温を記載してください。
- ⑤ 避難者から、健康状態の申告に基づき、濃厚接触者、発熱・体調不良者、要配慮者、健康者の各専用スペースへ振り分けて誘導します。その際、運営者の言動など、避難者に対する人権侵害等には十分配慮してください。



改正後

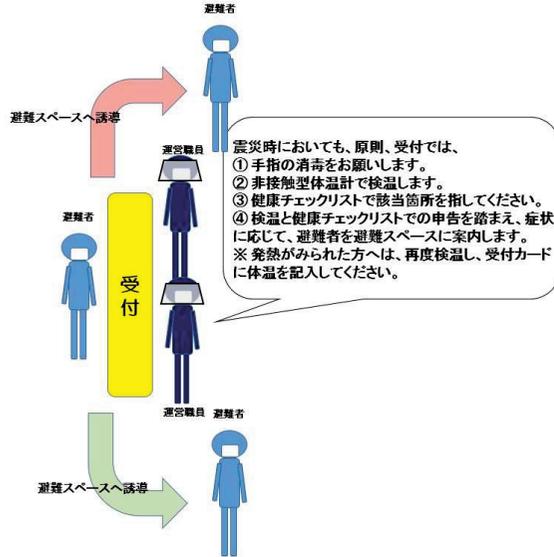
災害ごとの受付レイアウト

① 震災時（災害の規模により、避難所運営会議が設置する場合もある）

震災時は、校庭、ピロティ等を利用して、避難者の動線を管理できるように受付を設置してください。受付を担当する運営者の体制は、避難者数等を踏まえ、配置するようにします。

感染症発生時の避難所受付（イメージ）  
※震災時

受付までに、  
①マスクを着用してください。  
②並ぶときは1～2mの間隔を開けてください。  
③大声での会話は控えてください。



※震災時は、「避難所運営マニュアル～地震災害対策編～」に基づいた対応を行います。

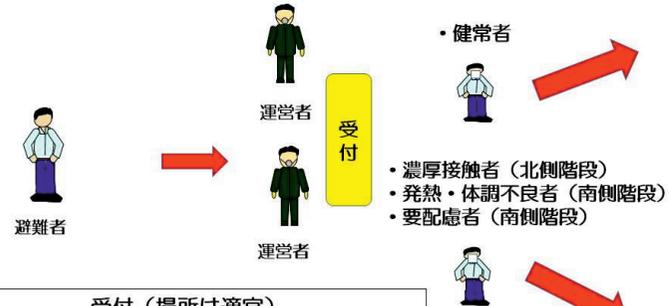
改正前

災害ごとの受付レイアウト

① 震災時、土砂災害警戒時

震災及び土砂災害警戒時は、校庭、ピロティ等を利用して、避難者の動線を管理できるように、受付を設置してください。受付を担当する運営者の体制は避難者数等を踏まえ、配置するようにします。

感染症発生時の避難所受付イメージ



受付（場所は適宜）

- マスクの着用の徹底
- 手指の消毒の徹底
- 検温の実施
- 受付カード等の配布
- 健康チェックリストに基づき振り分けを実施



改正後

② 土砂災害、洪水・高潮警報時

洪水・高潮警報時には、浸水想定エリア内の避難所は、避難場所として1階が使用できないことを考慮しながら、風雨のしのげる場所に適宜受付場所を設置します。  
災害の規模により、支援要員が増員されますので、受付等適宜配置を行ってください。

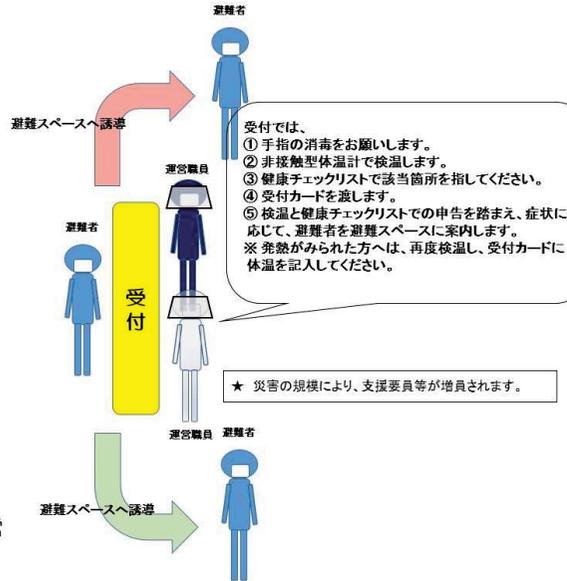
感染症発生時の避難所受付（イメージ）  
 ※土砂災害、洪水・高潮警報等発令時

受付までに、  
 ①マスクを着用してください。  
 ②並ぶときは1～2mの間隔を開けてください。  
 ③大声での会話は控えてください。



※受付では、原則、お名前や住所などの確認はしません。  
 避難スペース等において、受付カードに氏名を記入していただきます。  
 C・Dゾーンの避難者には、避難スペースに入室後、避難者カードの記入を依頼します。

※風水害時は、「風水害時の緊急避難場所運営マニュアル」に基づいた対応を行います。

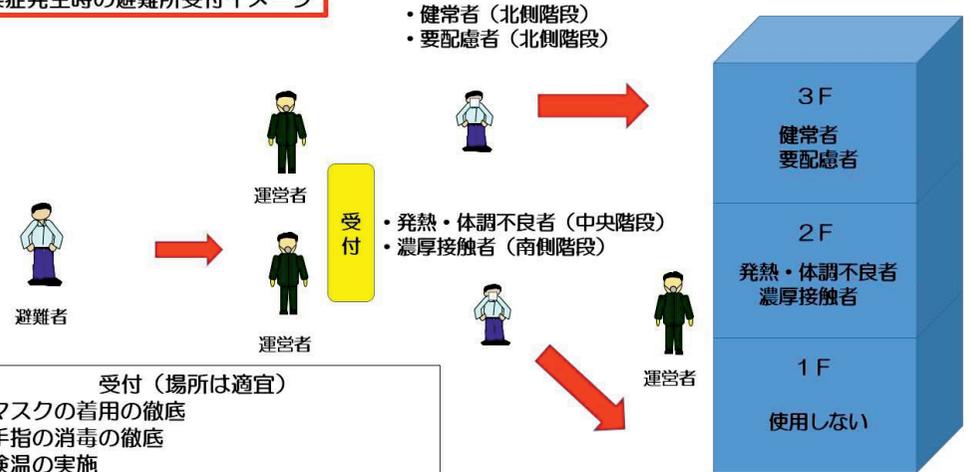


改正前

② 洪水・高潮警報時

洪水・高潮警報時には、浸水想定エリア内の避難所は、避難場所として1階や体育館が使用できないため、風雨の凌げる場所に適宜受付場所を設置します。

感染症発生時の避難所受付イメージ



- 受付（場所は適宜）
- ・マスクの着用の徹底
  - ・手指の消毒の徹底
  - ・検温の実施
  - ・受付カード等の配布
  - ・健康チェックリストに基づき振り分けを実施

改正後

4. A (体調良好者)・B (要配慮者)・C (発熱・体調不良者)・D (濃厚接触者等) ゾーンにおける感染症対策

避難者や避難場所に対して、「3つの密」の回避や、「マスクの着用」等の感染症対策を行うとともに、避難者のなかで、発熱・体調不良者等が出た場合や症状が悪化した場合には医療機関へ搬送する手続きをとるなど、適切な対応を行います。

具体的には、

- ① 避難スペースでの十分な換気及び人と人との適切な距離を確保します。
- ② 避難者へのマスクの着用、手指の消毒や手洗いなど手指衛生を徹底します。
- ③ ドアノブや階段の手すりなど、接触頻度の高い箇所について、職員は適宜消毒を行います。
- ④ 避難者に発熱等症状変化が見られた場合や体調不良等の訴えがあった場合は、区本部（区保健衛生・福祉班）へ電話等で症状を報告し、指示を求めます。症状等に応じて、避難者には該当スペースに移動してもらうほか、受診や緊急を要する場合には、119番のうえ、救急搬送することもあります。区本部（保健衛生・福祉班）は、受入先のほか、搬送などについて調整します。（※下記図を参照）

改正前

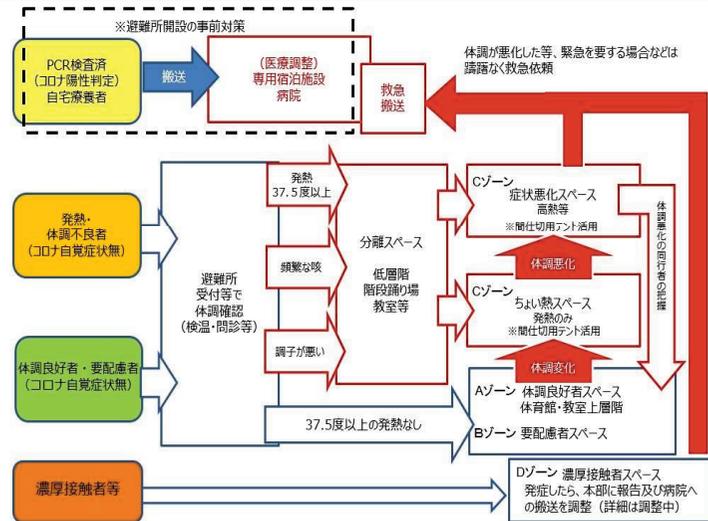
4. A (健全者)・B (要配慮者)・C (発熱・体調不良者)・D (濃厚接触者) ゾーンにおける感染症対策

避難者や避難場所に対して、「3つの密」の回避や、「マスクの着用」等の感染症対策を行うとともに、避難者のなかで、発熱・体調不良者等が出た場合や症状が悪化した場合には医療機関へ搬送する手続きをとるなど、適切な対応を行います。

具体的には、

- ① 避難スペースでの十分な換気及び人と人との距離を確保します。
- ② 避難者へのマスクの着用、手指の消毒や手洗いなど手指衛生を徹底します。
- ③ 症状の悪化等が見られた発熱・体調不良者に対しては、区本部の指示を仰ぐほか、医療機関への搬送調整など適切な対応を行います。
- ④ 避難者等の接触頻度の高い箇所について、上記の対応後に消毒を行います。

新型コロナウイルス感染症への対応イメージ



改正後	改正前
<p>5. C（発熱・体調不良者）・D（濃厚接触者等）ゾーンにおける感染症対策</p> <p>Cゾーン及びDゾーンへの避難者については、個室での対応が望ましいですが、避難者人数や収容スペースにより、やむをえず同室となる場合はテント等を使用し、接触リスクの低減に努めます。</p> <p>※ C・Dゾーンで避難者対応する際は、マスク・フェイスシールド・ニトリル手袋・ポンチョを着用します。</p> <p>5-1. C（発熱・体調不良者）ゾーンにおける感染症対策</p> <p>① 避難者には、避難スペースで避難者シート（Cゾーン用（P16））を記入していただきます。</p> <p>② 高熱や症状の変化があった場合は、区本部（保健衛生・福祉班）へ電話等で症状を報告し、指示を求めます。</p> <p>③ 症状等に応じて、スペースから移動させ、テント等で隔離するほか、受診や緊急を要する場合には119番のうえ、救急搬送することもあります。</p> <p>④ A（体調良好者）ゾーンの避難者に発熱等症状がみられた場合は、Cゾーンへ移動してもらい、上記と同様な対応をとります。</p>	<p>5. C（発熱・体調不良者）・D（濃厚接触者）ゾーンにおける感染症対策</p> <p>Cゾーン及びDゾーンにおいても、4. A・B・C・Dゾーンにおける感染症対策は行います。</p> <p>避難者には、避難者シート（Cゾーン用（P12）又はDゾーン用（P14））を記入していただきます。</p> <p>Cゾーン及びDゾーンへの避難者については、個室での対応が望ましいですが、避難者人数や収容スペースにより、やむをえず同室となる場合はテント等を使用します。</p>
<div style="text-align: center;"> <p><b>Cゾーンでの避難者対応フロー</b></p> <p>保健医療調整本部</p> <p>必要に応じて報告・調整</p> <p>区本部（保健衛生・福祉班）</p> <p>① 症状等申告・巡回での把握</p> <p>② 症状等報告</p> <p>③-1 一般クリニック等受診、119番の判断 経過観察、隔離等の指示 等</p> <p>③-2 避難者の診察・対応等を指示 (手段～電話等)</p> <p>④ 指示に基づく対応</p> <p>避難者</p> <p>避難所</p> </div>	

改正後	改正前
<p>5-2. D（濃厚接触者等）ゾーンにおける感染症対策</p> <p>① <u>避難者には、避難スペースで避難者シート（Dゾーン用（P18））を記入していただきます。</u></p> <p>② <u>高熱や症状の変化がみられた場合、また、本人から容態について訴え等があった場合など、緊急性が高いと判断した時は119番するとともに、区本部に報告します。対応の判断に迷う場合には、区本部（保健衛生・福祉班）へ電話等で症状を報告し、救急搬送の必要性について指示を仰ぎます。</u></p> <p>③ <u>119番した場合、行き先等は消防局が判断するため、救急隊に行き先の情報を確認し、区本部へ連絡します。</u></p> <p>④ <u>救急車以外での搬送が必要となった場合、区本部（保健衛生・福祉班）は関係機関と調整を行い、運営職員へ対応方法等について連絡します。</u></p> <p>6. 避難者の帰宅と閉鎖時の感染症対策</p> <p><u>避難情報の解除に伴い、避難者に帰宅方法を周知する際は、感染予防のため、発熱・体調不良者、要配慮者、体調良好者の順で帰宅させ、最後に濃厚接触者等を帰宅させます。「3つの密」の回避に留意しましょう。</u></p> <p><u>避難所の閉鎖後、学校施設等が円滑に再開できるよう、施設管理者と協議しながら、清掃や消毒等原状復帰のために作業を行い、施設管理者に確認してもらった後、避難所を閉鎖します。</u></p>	<p><u>Dゾーンの避難者に、高熱や症状の変化がみられた場合は、「119番」します。その後、受入れ先病院について区本部（保健衛生・福祉班）と相談します。区本部は健康福祉部と調整の上、受け入れ病院を決定し、職員へ連絡します。職員は医療機関等への搬送までの間、適宜、避難者への声かけを行うなど、経過観察も行います。</u></p> <p>6. 避難者の帰宅と閉鎖時の感染症対策</p> <p><u>避難者の帰宅時には、体調不良者や要配慮者から優先して帰宅させるなど、各ゾーンの避難者ごとに時間差を設けるようにして、「3つの密」の回避に留意しましょう。避難所の閉鎖後、学校施設等が円滑に再開できるよう、清掃や消毒等原状復帰のために作業を行い、施設管理者に確認してもらったあとで、避難所を閉鎖します。</u></p>

改正後

7. 運営チェックリスト※各災害別避難所運営マニュアルでの業務に加え、対応します。

0. 開設準備編

(1) 事前準備

- 施設管理者との確認・張り紙等の掲示  
開放するスペース・動線（通路・階段やトイレ）などを運営に関わる全員でミーティングを行い、動線は張り紙等で明示する。
- 避難時の健康チェックリスト(P15)の準備  
受付に準備する他、受付の動線を考慮のうえ、なるべく見やすい位置に「大きく」掲示する。

(2) 受付

- 受付場所として長机等を用いて、以下の備品等を配置する。
- 非接触型体温計
- マスク（マスク未着用の方への配布分）
- ニトリル手袋
- フェイスシールド
- 手指用消毒液

(3) C（発熱・体調不良者）・D（濃厚接触者等）ゾーン従事職員用感染防護衣

- 着用場所を定め、全員で共有し、以下の備品等を配置する。
- マスク（職員交換用）
- ニトリル手袋
- フェイスシールド
- 手指用消毒液
- ポンチョ（サージカルガウンの代替品）
- ごみ袋（マスク、手袋、ポンチョの廃棄用）

(4) 各スペース出入口及びトイレ前

- レイアウトに従い、イス等を使用し適度な高さを確保して、「手指用消毒液」を配置する。（適宜、残量を確認し補充する）

(5) 水飲み場

- レイアウトに従い、イス等を使用し適度な高さを確保して、「ハンドソープ」を配置する。（適宜、残量を確認し補充する）

改正前

運営チェックリスト※各災害別避難所運営マニュアルでの業務に加え、対応します。

0. 開設準備編

- 施設管理者との確認・張り紙等の掲示  
開放するスペース・動線（通路やトイレ）などを再度確認し、動線は張り紙等で明示する。
- 消毒液（手指用）の準備  
受付およびトイレ前に設置する。
- （非接触式）体温計の準備  
受付に用意する。
- サージカルマスクの準備  
受付に用意する。
- ニトリル手袋の準備  
受付及びC（発熱・体調不良者）・D（濃厚接触者）ゾーンで従事する際に着用する。
- フェイスシールドの準備  
C（発熱・体調不良者）・D（濃厚接触者）ゾーンで従事する際に着用する。
- ポンチョ（サージカルガウンの代替品）の準備  
C（発熱・体調不良者）・D（濃厚接触者）ゾーンで従事する際に着用する。
- 避難時の健康チェックリスト(P11)の準備  
受付に準備するほか、「大きく」掲示する。

## 改正後

### 1. 受付編

#### 【避難者対応】

- 各避難所運営マニュアルに基づいた受付を実施する。
- 受付では、まずマスクの着用を確認する。着用していない避難者に対しては、マスクを配布し、着用してもらう。
- 備付の消毒液を使用し、避難者に手指消毒をお願いする。
- 1～2mの間隔など可能な限りソーシャルディスタンスを確保するよう、目安のテープを貼るなどの工夫をして受付前に並んでもらう。
- 非接触型体温計にて避難者を検温する。
- 避難者から健康状態について避難時の健康チェックリスト(P 1 5)に基づき、「指さし」にて**意思表示をお願いします。**
- 全ての避難者に受付カードを配布し、検温等の結果により、C・Dゾーンに振分ける方については、運営者が**再度検温した上で**、体温を記載する。
- 避難者の状況に応じ、各々の専用スペースへ『専用スペースは●階の●●です。●●へはここから◆側の◆◆階段を上り、◆通路を使って側へ進んでください。』等、適切な誘導（案内の掲示等、発声を控える対応が望ましい）を行う。

#### 【運営者の感染症対策】

- マスク、フェイスシールド、ニトリル手袋を着用する。
- 手洗い・手指の消毒等を適宜行う。（ニトリル手袋を着けたままの消毒も可能）
- マスク・ニトリル手袋は、適宜交換する。
- ニトリル手袋を外した場合は廃棄し、再利用はしない。
- 体調が悪くなった場合は直ちに業務を停止し、区本部へ報告して指示を受ける。

## 改正前

### 1. 受付編

#### 【避難者対応】

- 各避難所運営マニュアルに基づいた受付を実施する。
- 受付では、まずマスクの着用を確認する。着用していない避難者に対しては、マスクを配布し、着用してもらう。
- 備付の消毒液を使用し、避難者に手指消毒をお願いする。
- 1～2mの間隔など可能な限りソーシャルディスタンスを確保するよう、目安のテープを貼るなどの工夫をして受付前に並んでもらう。
- （非接触式）体温計にて避難者を検温する。
- 避難者から健康状態について避難時の健康チェックリスト(P 1 1)に基づき、「指さし」にて**明示してもらう。**
- 全ての避難者に受付カード（**受付時に使用する帳票**）を配布し、検温等の結果でC・Dゾーンに振分ける方については、運営者が体温を記載する。
- 避難者の状況に応じ、各々の専用スペースへ『専用スペースは●階の●●です。●●へはここから◆側の◆◆階段を上り、◆通路を使って側へ進んでください。』等、適切な誘導（案内の掲示等、発声を控える対応が望ましい）を行う。

#### 【運営者の感染症対策】

- サージカルマスク、ニトリル手袋を着用する。
- 手指の消毒等を適宜行う。
- 体調が悪くなった場合は区本部へ報告するとともに、直ちに業務を停止する。

## 改正後

### 2. 運営編

#### A（体調良好者）・B（要配慮者）ゾーン対応

##### 【避難者対応】

- マスク着用の徹底について願います。
- 手洗いや手指の消毒など手指衛生の徹底について願います。
- 近距離での会話、大声を出す等の飛沫感染のリスク原因となる行動は避けるよう注意する。
- 受付カードに、氏名を記入するようお願いをする。
- 他の避難者からの申告等にも注意を払い、体調不良者等の把握に努める。
- 不必要に施設の物品等に触れないなど、接触感染のリスクを発生させないよう注意する。
  
- 体調不良等の訴えがあった場合は、検温を実施し、発熱等の状況に応じて、C（発熱・体調不良者）ゾーンへ移動してもらおう。
- 巡回時には、避難者の顔色等の様子に注意を払うとともに、発熱、咳等の症状が出た場合は申告するようお願いする。
- 避難者が出したごみは感染リスクの観点から、避難者に持ち帰ってもらう。

##### 【避難スペースの「3つの密」の回避】

- 避難者一人当たりのスペースを可能な限り確保する。人との間隔は1m以上とることが望ましい。
- 30分毎（目安）に窓の開閉等の十分な換気を実施する。
- 窓が無いなど換気が不十分な場合は、扇風機などで強制換気を行う。

##### 【共用スペースでの感染症対策】

- 接触頻度が高い箇所については、適宜消毒をする。
- トイレには手指用消毒液を設置し、手洗いや手指消毒を徹底する。
- トイレ、洗面台等多くの人が利用する場所は、午前1回・午後1回などの頻度で清掃を行うとともに、トイレトーパー等の在庫確認を行う。
- 避難者に対しても、きれいに利用してもらうよう協力をお願いする。  
（校内放送等を使用）

##### 【運営者の感染症対策】

- マスクを着用する。
- 手洗い・手指の消毒等を適宜行う。
- マスクは適宜交換する。
- 体調が悪くなった場合は直ちに業務を停止し、区本部へ報告して指示を受ける。

## 改正前

### 2. 運営編

#### A（健常者）・B（要配慮者）ゾーン対応

##### 【避難者対応】

- マスク着用の徹底について願います。
- 手洗いや手指の消毒など手指衛生の徹底について願います。
  
- 他の避難者からの申告等にも注意を払い、体調不良者等の把握に努める。
- 不必要に施設の物品等に触れるなど、接触感染のリスクを発生させないよう注意する。
- 近距離での会話、大声を出す等の飛沫感染のリスク原因となる行動は避けるよう注意する。
- 体調不良等の訴えがあった場合は、検温を実施し、状況に応じて、C（発熱・体調不良者）ゾーンへ移動してもらおう。
- 巡回時には、避難者の顔色等に注意を払うとともに、発熱、咳等の症状が出た場合は申告するようお願いする。

##### 【避難スペースの「3つの密」の回避】

- 避難者一人当たりのスペースを可能な限り確保する。人との間隔は1m以上とることが望ましい。
- 30分毎（目安）に窓の開閉等の十分な換気を実施する。

##### 【共用スペースでの感染症対策】

- 接触頻度が高い箇所については、適宜消毒をする。
- トイレにはアルコール消毒液を設置し、手洗いや手指消毒を徹底する。
- トイレ、洗面台等多くの人が利用する場所は、清掃を定期的に行うとともに、避難者に対しても、きれいに利用してもらうよう協力をお願いする。

##### 【運営者の感染症対策】

- マスクを着用する。
- 手指の消毒等を適宜行う。

改正後

C (発熱・体調不良者)・D(濃厚接触者等)ゾーンの対応

【避難者対応】

- マスク着用の徹底についてお願いする。
- 手洗いや手指の消毒など手指衛生の徹底についてお願いする。
- 不必要に施設の物品等に触れないなど、接触感染のリスクを発生させないように注意する。
- 近距離での会話、大声を出す等の飛沫感染のリスク原因となる行動は避けるよう注意する。
- 避難者シート (Cゾーン用 (P 16) 又はDゾーン用 (P 18)) に記入してもらう。(Dゾーンについては、県のLINEシステム等で、コロナの経過観察が出来ている場合は、避難者シート表面の氏名・住所・電話番号のみ記入してもらう)
- 濃厚接触者等や体調不良者に新型コロナウイルス感染症に類似する症状や、症状の悪化が現れた場合は、直ちに申告するよう依頼する。
- Cゾーンの避難者に、高熱や症状の変化がみられた場合は、区本部(保健衛生・福祉班)へ電話等で症状を報告し、指示を求める。(一般医療機関の受診、119番の判断等)
- Dゾーンの避難者に、高熱や症状の変化がみられた場合、また、本人から容態について訴えがあった場合など、緊急性が高いと判断した時は119番するとともに、区本部に状況等を報告する。判断に迷う場合には、区本部(保健衛生・福祉班)へ電話等で症状を報告し、救急搬送の必要性について指示を仰ぐ。
- 119番した場合、行き先等は消防局が判断するため、救急隊に行き先等の情報を確認し、区本部へ連絡する。
- 救急車以外での搬送が必要となった場合、区本部(保健衛生・福祉班)は関係機関と調整を行い、運営職員へ対応方法等について連絡する。
- 搬送が必要となった場合、保健医療調整本部は県と調整の上、受入れ病院を決定し、運営職員へ連絡する。運営職員は避難所に到着した救急隊へ、避難者の症状、調整内容等を伝える。
- 適宜巡回し、声かけを行うなど体調の変化を確認する。
- 避難者が出したごみは感染リスクの観点から、避難者に持ち帰ってもらう。

【避難スペースの「3つの密」の回避】

- 避難者一人当たりのスペースを可能な限り確保する。人との間隔は1 m以上とることが望ましい。
- 30分毎(目安)に数分間、窓の開閉等の十分な換気を実施する。
- 窓が無いなど換気が不十分な場合は、扇風機などで強制換気を行う。

改正前

C (発熱・体調不良者)・D(濃厚接触者)ゾーンの対応

【避難者対応】

- マスク着用の徹底についてお願いする。
- 手洗いや手指の消毒など手指衛生の徹底についてお願いする。
- 不必要に施設の物品等に触れるなど、接触感染のリスクを発生させないように注意する。
- 近距離での会話、大声を出す等の飛沫感染のリスク原因となる行動は避けるよう注意する。
- 避難者シート (Cゾーン用 (P 12) 又はDゾーン用 (P 14)) に記入してもらう。(Dゾーンについては、県のLINEシステム等で、コロナの経過観察が出来ている場合、避難者シート表面の氏名・住所・電話番号のみ記入してもらう)
- 濃厚接触者や体調不良者に新型コロナウイルス感染症に類似する症状や、症状の悪化が現れた場合は、直ちに申告するよう依頼する。
- 症状の悪化等が見られたときや、訴えがあった場合には「119番」とともに、区本部へ報告を行う。  
なお、Dゾーンの避難者については、119番した後、受入れ先病院について区本部(保健衛生・福祉班)と相談する。区本部は健康福祉部と調整の上、受け入れ病院を決定し、職員へ連絡する。
- 適宜巡回し、声かけを行うなど体調の変化を確認する。

【避難スペースの「3つの密」の回避】

- 避難者一人当たりのスペースを可能な限り確保する。人との間隔は1 m以上とることが望ましい。
- 30分毎(目安)に窓の開閉等の十分な換気を実施する。

## 改正後

### 【共用スペースでの感染症対策】

- 接触頻度が高い箇所については、適宜消毒をする。
- トイレには手指用消毒液を設置し、手洗いや手指消毒を徹底する。
- トイレ、洗面台等多くの人が利用する場所は、午前1回・午後1回などの頻度で清掃を行うとともに、トイレットペーパー等の在庫確認を行う。

### 【運営者の感染症対策】

- マスク、フェイスシールド、ニトリル手袋、ポンチョを着用する。
- 手洗い・手指の消毒等を適宜行う。(ニトリル手袋を着けたままの消毒も可能)
- ニトリル手袋を外した場合は廃棄し、再利用はしない。
  
- 体調が悪くなった場合は直ちに業務を停止し、区本部へ報告して指示を受ける。
- マスク・ニトリル手袋は、適宜交換する。

### 【感染防護衣の交換時期】

- CゾーンとDゾーン、両ゾーンを担当する場合は、ゾーンごとに感染防護衣を交換する。(フェイスシールドは、アルコール消毒液で消毒する)
- 避難スペースの外での対応(巡回などで、廊下から教室の様子を確認する等)の場合は、マスク・ニトリル手袋のみの交換でよい。

### 【感染防護衣の交換及び処分方法】

- ゾーンへ近い場所に更衣スペースを設け、備品等を設置する。
- 感染防護衣の着脱は、定めた場所で出入りをする直前に行う。
- 着脱する場所には、事前に専用ゴミ袋を用意し、使用済みの感染防護衣をまとめる。
- 感染防護衣を脱ぐときは、汚れやウイルスのついた外側を触らないように注意するとともに、手洗い・アルコール消毒をする。(資料：防護衣の脱ぎ方参照)

## 改正前

### 【共用スペースでの感染症対策】

- 接触頻度が高い箇所については、適宜消毒をする。
- トイレにはアルコール消毒液を設置し、手洗いや手指消毒を徹底する。  
トイレ、洗面台等多くの人が利用する場所は、清掃を定期的に行うとともに、避難者に対しても、きれいに利用してもらうよう協力をお願いする。

### 【運営者の感染症対策】

- マスク、ニトリル手袋、ポンチョ、フェイスシールドを着用する。
- ニトリル手袋は、避難者対応(避難者シートの受領や訴えによる問答等)の都度、新しい手袋に交換する。
- 手指の消毒等を適宜行う。
- 体調が悪くなった場合は区本部へ報告するとともに、直ちに業務を停止する。

## 改正後

### 3. 閉鎖編

#### 【帰宅時の避難者対応】

- 氏名を記入した受付カードを回収するための、箱などの入れ物を用意する。
- 帰宅する避難者に、受付カードを回収箱に入れてもらうよう周知する。
- 避難情報の解除に基づき、避難者に解除および帰宅方法の周知を行う。
- 感染予防のため、発熱・体調不良者、要配慮者、体調良好者の順で帰宅させ、最後に濃厚接触者等を帰宅させる。
- 部屋ごとに時間差を設けて帰宅させることや、1～2 m以上の間隔をあけるなどの、適切なソーシャルディスタンスを取ることに留意する。
- 避難者が出したごみは感染リスクの観点から、避難者に持ち帰ってもらう。

#### 【閉鎖時の消毒等】

- 運営者はマスク、ニトリル手袋、フェイスシールド等を着用して作業する。
- 避難スペースや廊下、トイレなどは窓を全開するなど、換気を十分に行う。
- 施設の消毒には、施設用消毒液を使用する。
- ドアノブ、スイッチ、階段の手すりなど施設管理者と協議しながら、避難者等が触れた箇所を、施設用消毒液で拭き掃除をする。
- トイレは、個室のドアノブや手洗い場を施設用消毒液で拭き掃除する。
- 清掃で使用したニトリル手袋等を廃棄する際は、中の空気が漏れないように、ゴミ袋の口を固く縛るなど、回収時の感染リスクが上がらないよう注意する。
- 清掃後、必ず手洗いや手指の消毒等、衛生管理を徹底する。運営者で体調不良者等が出た場合は区本部へ報告し、指示を仰ぐ。
- 感染防護衣を脱ぐときは、汚れやウイルスのついた外側を触らないように注意するとともに、手洗い・アルコール消毒をする。(参考資料：防護衣の脱ぎ方参照)

## 改正前

### 3. 閉鎖編

#### 【帰宅時の避難者対応】

- 避難情報の解除に基づき、避難者に解除および帰宅方法の周知を行い、体調不良者・要配慮者から帰宅させる。
- 次に、健常者を帰宅させ、最後に濃厚接触者を帰宅させる。
- 避難者を帰宅させる際は、部屋ごとに時間をおいて帰宅させることや、1 m以上の間隔をあけるなどの、適切なソーシャルディスタンスを取ることに留意する。

#### 【閉鎖時の消毒等】

- 運営者はマスク、ニトリル手袋、フェイスシールド等を着用して作業する。
- 避難スペースや廊下、トイレなどは窓を全開するなど、換気を十分に行う。
- ドアノブ、机、椅子、階段の手すりなど避難者等が触れた箇所について、消毒液（施設消毒用）を用い、拭き掃除をする。
- 清掃で使用したニトリル手袋等を廃棄する際は、ゴミ袋を固く縛るなど、注意する。
- 清掃後、必ず手洗いや手指の消毒等衛生管理を徹底する。運営者で体調不良者等が出た場合は区本部へ報告し、指示を仰ぐ。
- 感染防護具を脱ぐときは、汚れやウイルスのついた外側を触らないように注意するとともに、手洗い・アルコール消毒をする。(参考資料：防護衣の脱ぎ方参照)

改正後

### 避難時の健康チェックリスト

避難所等は、集団生活（滞在）の場となり、感染症のリスクが生じることが考えられます。

感染リスク軽減の観点等から、避難者の皆さまには、症状等に応じて、専用の避難スペースに避難していただきます。

避難者の皆さまには、症状等を確認のうえ、該当する「A・B・C・D」について、

受付時に、「指さし」での申告をお願いします。

A	体調良好（※B～Dに該当しない方）
B	特別な配慮が必要 〔介護や介助が必要、在宅酸素・人工透析中、乳幼児（妊娠中含む）等がいる方で、特別な配慮を希望する方で、C・Dに該当しない方。ただし、職員等が介護や介助を行うわけではありません。〕
C	体調不良 （発熱・咳・下痢・おう吐・発疹などの症状があるが、Dに該当しない方）
D	新型コロナウイルス感染症の濃厚接触の対象になっている
	過去14日以内に、海外から帰国した

上記チェックリストを確認し、下記の該当するアルファベットを職員に

「指をさしてください」

A	B	C	D
---	---	---	---

改正前

### 避難時の健康チェックリスト

避難所等は、集団生活（滞在）の場となり、感染症のリスクが生じることが考えられます。

感染リスク軽減の観点等から、避難者の皆さまには、症状等に応じて、専用の避難スペースに避難していただきます。

避難者の皆さまには、症状等を確認のうえ、該当する「A・B・C・D」について、

受付時に、「指さし」での申告をお願いします。

A	体調良好
B	介護や介助が必要である
	在宅酸素・人工透析中である。
	乳幼児（妊娠中を含む）がいる
C	発熱、咳、下痢、嘔吐、発疹などの症状があるなど、体調不良である
D	濃厚接触の対象になっている
	過去14日以内に、新型コロナウイルス感染症の流行地域に行ったことがある 過去14日以内に、海外から帰国した

上記チェックリストを確認し、下記の該当するアルファベットを職員に

「指をさしてください」

A	B	C	D
---	---	---	---

改正後

Cゾーン 避難者シート

利用者記入→避難所職員一區保健衛生福祉班(一市保健医療調整本部)  
※区本部から市本部に調整依頼した場合は、本シートを送付すること

【記入日】 年 月 日

※体温は毎日、朝と夜の2回はかりましょう。(裏面)

【氏名】

※**症状が悪化したら、職員に伝えましょう。**

住所		年齢	歳
電話番号	( ) - ( )	喫煙歴	有・無
基礎疾患等 (持病)	有 無	免疫抑制薬 抗がん剤の使用	有・無
	有の方:糖尿病 心臓・肺の病気 悪性腫瘍 透析 その他:( )		

<1回目> (入所時・症状が悪化した日以降の午前中) 記入時間 時 分

該当に「○」	確認事項
( )	熱( )℃がある、または熱っぽい、いつから( )
( )	呼吸器症状がある(咳、のどの痛み、呼吸困難、鼻汁・鼻づまり、たん など)
( )	インフルエンザのような症状がある(全身のだるさ、寒気、頭痛、関節・筋肉痛 など)
( )	眼の痛みや結膜の充血がある
( )	消化器症状(下痢、吐き気・嘔吐・腹痛・血便)がある
( )	咳があり、血がまじった痰が出る(血痰)がある
( )	身体に発疹が出ている → かゆみ(有・無) 痛み(有・無)
( )	唇や口の周りに発疹が出ていて、痛みがある
( )	首がかたい感じがしたり、痛かったりする
( )	傷などがあり、腫が出たり、赤かったり、腫れていた、痛かったりする

<2回目> (おおよそ、1回目の8時間後) 記入時間 時 分

該当に「○」	確認事項
( )	熱( )℃がある、または熱っぽい、いつから( )
( )	呼吸器症状がある(咳、のどの痛み、呼吸困難、鼻汁・鼻づまり、たん など)
( )	インフルエンザのような症状がある(全身のだるさ、寒気、頭痛、関節・筋肉痛 など)
( )	眼の痛みや結膜の充血がある
( )	消化器症状(下痢、吐き気・嘔吐・腹痛・血便)がある
( )	咳があり、血がまじった痰が出る(血痰)がある
( )	身体に発疹が出ている → かゆみ(有・無) 痛み(有・無)
( )	唇や口の周りに発疹が出ていて、痛みがある
( )	首がかたい感じがしたり、痛かったりする
( )	傷などがあり、腫が出たり、赤かったり、腫れていた、痛かったりする

裏面に続きます

(避難所名: )

改正前

Cゾーン 避難者シート

利用者記入→避難所管理者・担当職員一市保健医療調整本部

【記入日】 年 月 日

※体温は毎日、朝と夜の2回はかりましょう。(裏面)

【氏名】

※**症状が悪化したら、職員に伝えましょう。**

住所		年齢	歳
電話番号	( ) - ( )	喫煙歴	有・無
基礎疾患等 (持病)	有 無	免疫抑制薬 抗がん剤の使用	有・無
	有の方:糖尿病 心臓・肺の病気 悪性腫瘍 透析 その他:( )		

<1回目> (入所時・症状が悪化した日以降の午前中)

該当に「○」	確認事項
( )	熱( )℃がある、または熱っぽい、いつから( )
( )	呼吸器症状がある(咳、のどの痛み、呼吸困難、鼻汁・鼻づまり、たん など)
( )	インフルエンザのような症状がある(全身のだるさ、寒気、頭痛、関節・筋肉痛 など)
( )	眼の痛みや結膜の充血がある
( )	消化器症状(下痢、吐き気・嘔吐・腹痛・血便)がある
( )	咳があり、血がまじった痰が出る(血痰)がある
( )	身体に発疹が出ている → かゆみ(有・無) 痛み(有・無)
( )	唇や口の周りに発疹が出ていて、痛みがある
( )	首がかたい感じがしたり、痛かったりする
( )	傷などがあり、腫が出たり、赤かったり、腫れていた、痛かったりする

<2回目> (おおよそ、1回目の8時間後)

該当に「○」	確認事項
( )	熱( )℃がある、または熱っぽい、いつから( )
( )	呼吸器症状がある(咳、のどの痛み、呼吸困難、鼻汁・鼻づまり、たん など)
( )	インフルエンザのような症状がある(全身のだるさ、寒気、頭痛、関節・筋肉痛 など)
( )	眼の痛みや結膜の充血がある
( )	消化器症状(下痢、吐き気・嘔吐・腹痛・血便)がある
( )	咳があり、血がまじった痰が出る(血痰)がある
( )	身体に発疹が出ている → かゆみ(有・無) 痛み(有・無)
( )	唇や口の周りに発疹が出ていて、痛みがある
( )	首がかたい感じがしたり、痛かったりする
( )	傷などがあり、腫が出たり、赤かったり、腫れていた、痛かったりする

裏面に続きます

(避難所名: )

改正後

【氏名】 (避難所名: 担当者名: )

体温測定	/ ( )		/ ( )		/ ( )		/ ( )	
	朝	夜	朝	夜	朝	夜	朝	夜
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
頭痛	頭痛がある							
だるさ	全身のだるさがある							
咳・たん	咳・たんがひどい							
吐き気	吐き気がある							
下痢	下痢がある							
息苦しさ	★ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった（呼吸数が多くなった） ・急に息が苦しくなった ・少し動くと息がある ・胸の痛みがある ・背しくて横になれない ・座らないと息ができない ・肩で息をしたり、ゼーゼーする							
その他	★その他の症状がある ・食欲がない ・鼻水、鼻づまり、のどの痛み ・においや味を感じない ・関節痛・筋肉痛がある ・体にぶつぶつ（発疹）が出ている ・目が赤く、目やにが多い など							

改正前

【氏名】 (避難所名: 担当者名: )

体温測定	/ ( )		/ ( )		/ ( )		/ ( )	
	朝	夜	朝	夜	朝	夜	朝	夜
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
頭痛	頭痛がある							
だるさ	全身のだるさがある							
咳・たん	咳・たんがひどい							
吐き気	吐き気がある							
下痢	下痢がある							
息苦しさ	★ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった（呼吸数が多くなった） ・急に息が苦しくなった ・少し動くと息がある ・胸の痛みがある ・横になれない ・座らないと息ができない ・肩で息をしたり、ゼーゼーする							
その他	★その他の症状がある ・食欲がない ・鼻水、鼻づまり、のどの痛み ・においや味を感じない ・関節痛・筋肉痛がある ・体にぶつぶつ（発疹）が出ている ・目が赤く、目やにが多い など							

改正後

利用者記入→避難所職員一區保健衛生福祉班(一市保健医療調整本部)

※区本部から市本部に調整依頼した場合は、本シートを送付すること

**D** ゾーン 避難者シート

【記入日】 年 月 日 ※体温は毎日、朝と夜の2回はかりましょう。(裏面)

【氏名】 ※**症状が出たら**、職員にすぐに伝えるとともに、  
新しい用紙を使用して症状を記録しましょう。(表面)

1:濃厚接触者 2:帰国者(どちらかに○をしてください)		年齢	歳
住所			
電話番号	( ) -	喫煙歴	有・無
基礎疾患等 (持病)	有 有の方:糖尿病 心臓・肺の病気 慢性腫瘍 透析 その他:( )	免疫抑制薬 抗がん剤の使用	有・無
		県のLINE システムの使用	有・無

<1回目> (入所時・症状が出た日以降の午前中)

※県のLINEシステムを使用している方は、記入不要です

記入時間 時 分

該当に「○」	確認事項
( )	*鼻が痛い *急に鼻が詰まった *生活をしていて動くとき鼻が詰まる *胸の痛み
※どれか一つでも	*苦しくて横になれない *息が吸えない *急に息が詰まる *突然(2時間以内目安)で体温が37.5℃以上になった *喉がとぼ・リズムが乱れる感じがする
( )	熱( )℃がある。または熱っぽい。いつから( )
( )	呼吸器症状がある(咳、のどの痛み、呼吸困難、鼻汁・鼻づまり、たん など)
( )	インフルエンザのような症状がある(全身のだるさ、寒気、頭痛、関節・筋肉痛 など)
( )	味覚・嗅覚障害がある
( )	眼の痛みや結膜の充血がある
( )	消化器症状(下痢、吐き気・嘔吐)がある

<2回目> (おおよそ、1回目の8時間後)

記入時間 時 分

該当に「○」	確認事項
( )	*鼻が痛い *急に鼻が詰まった *生活をしていて動くとき鼻が詰まる *胸の痛み
※どれか一つでも	*苦しくて横になれない *息が吸えない *急に息が詰まる *突然(2時間以内目安)で体温が37.5℃以上になった *喉がとぼ・リズムが乱れる感じがする
( )	熱( )℃がある。または熱っぽい。いつから( )
( )	呼吸器症状がある(咳、のどの痛み、呼吸困難、鼻汁・鼻づまり、たん など)
( )	インフルエンザのような症状がある(全身のだるさ、寒気、頭痛、関節・筋肉痛 など)
( )	味覚・嗅覚障害がある
( )	眼の痛みや結膜の充血がある
( )	消化器症状(下痢、吐き気・嘔吐)がある

裏面に続きます

-18-

(避難所名: )

改正前

**D** ゾーン 避難者シート

利用者記入→避難所管理者・担当職員一市保健医療調整本部

【記入日】 年 月 日 ※体温は毎日、朝と夜の2回はかりましょう。(裏面)

【氏名】 ※**症状が出たら**、職員にすぐに伝えるとともに、  
新しい用紙を使用して症状を記録しましょう。(表面)

<この欄は、入所時のみ記入>		年齢	歳
住所			
電話番号	( ) -	喫煙歴	有・無
基礎疾患等 (持病)	有 有の方:糖尿病 心臓・肺の病気 慢性腫瘍 透析 その他:( )	免疫抑制薬 抗がん剤の使用	有・無
		県のLINE システムの使用	有・無

<1回目> (入所時・症状が出た日以降の午前中) ※県のLINEシステムを使用している方は、記入不要です

該当に「○」	確認事項
( )	*鼻が痛い *急に鼻が詰まった *生活をしていて動くとき鼻が詰まる *胸の痛み
※どれか一つでも	*苦しくて横になれない *息が吸えない *急に息が詰まる *突然(2時間以内目安)で体温が37.5℃以上になった *喉がとぼ・リズムが乱れる感じがする
( )	熱( )℃がある。または熱っぽい。いつから( )
( )	呼吸器症状がある(咳、のどの痛み、呼吸困難、鼻汁・鼻づまり、たん など)
( )	インフルエンザのような症状がある(全身のだるさ、寒気、頭痛、関節・筋肉痛 など)
( )	味覚・嗅覚障害がある
( )	眼の痛みや結膜の充血がある
( )	消化器症状(下痢、吐き気・嘔吐)がある

<2回目> (おおよそ、1回目の8時間後)

該当に「○」	確認事項
( )	*鼻が痛い *急に鼻が詰まった *生活をしていて動くとき鼻が詰まる *胸の痛み
※どれか一つでも	*苦しくて横になれない *息が吸えない *急に息が詰まる *突然(2時間以内目安)で体温が37.5℃以上になった *喉がとぼ・リズムが乱れる感じがする
( )	熱( )℃がある。または熱っぽい。いつから( )
( )	呼吸器症状がある(咳、のどの痛み、呼吸困難、鼻汁・鼻づまり、たん など)
( )	インフルエンザのような症状がある(全身のだるさ、寒気、頭痛、関節・筋肉痛 など)
( )	味覚・嗅覚障害がある
( )	眼の痛みや結膜の充血がある
( )	消化器症状(下痢、吐き気・嘔吐)がある

裏面に続きます

-14-

(避難所名: )

改正後

【氏名】

(避難所名: ) 担当者名: )

体温測定		1 ( )	1 ( )	1 ( )	1 ( )	1 ( )	1 ( )	1 ( )
		朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝
		夜	夜	夜	夜	夜	夜	夜
頭痛	頭痛がある	はい・いいえ						
だるさ	全身のだるさがある	はい・いいえ						
咳・たん	咳・たんがひどい	はい・いいえ						
吐き気	吐き気がある	はい・いいえ						
下痢	下痢がある	はい・いいえ						
息苦しさ	★ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった (呼吸数が多くなった) ・急に息が苦しくなった ・少し動くと息があがる ・胸の痛みがある ・背しくて横になれない ・座らないと息ができない ・肩で息をしたり、ゼーゼーする	はい・いいえ						
その他	★その他の症状がある ・食欲がない ・鼻水、鼻づまり、のどの痛み ・においや味を感じない ・関節痛・筋肉痛がある ・体にぶつぶつ (発疹) が出ている ・目が赤く、目やにが多い など	はい・いいえ (複数)						

改正前

【氏名】

(避難所名: ) 担当者名: )

体温測定		1 ( )	1 ( )	1 ( )	1 ( )	1 ( )	1 ( )	1 ( )
		朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝
		夜	夜	夜	夜	夜	夜	夜
頭痛	頭痛がある	はい・いいえ						
だるさ	全身のだるさがある	はい・いいえ						
咳・たん	咳・たんがひどい	はい・いいえ						
吐き気	吐き気がある	はい・いいえ						
下痢	下痢がある	はい・いいえ						
息苦しさ	★ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった (呼吸数が多くなった) ・急に息が苦しくなった ・少し動くと息があがる ・胸の痛みがある ・横になれない ・座らないと息ができない ・肩で息をしたり、ゼーゼーする	はい・いいえ						
その他	★その他の症状がある ・食欲がない ・鼻水、鼻づまり、のどの痛み ・においや味を感じない ・関節痛・筋肉痛がある ・体にぶつぶつ (発疹) が出ている ・目が赤く、目やにが多い など	はい・いいえ (複数)						

改正後	改正前
削除	<p style="text-align: center;"><u>災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策 Q&amp;A</u></p> <p><u>1 避難者と物を介する接触について</u></p> <p><u>Q 1 受付での対応の中で、健康チェックリスト等を避難者に手渡すときなど、注意することはありますか。</u></p> <p><u>A 運営者が準備段階から、マスク・手袋の着用、アルコールの消毒等を徹底し注意することが必要です。</u></p> <p><u>2 避難所内の感染症対策について</u></p> <p><u>Q 2 避難スペースの換気方法や換気の時間は決まっていますか。</u></p> <p><u>A 換気時間について根拠はありません。空調を使うのが望ましいですが、換気することが重要です。冬でなければ常時窓を開けるのが望ましいです。</u></p> <p><u>Q 3 健常者と発熱者等が使用するトイレは分けた方がよいですか。</u></p> <p><u>A ノロウイルスはトイレからの感染が多いです。トイレを多く用意できるのであれば、症状のある人とない人は分けたほうが望ましいです。それよりも手洗いを徹底させ、手指消毒用アルコール消毒液を配備することが有効です。</u></p> <p><u>Q 4 トイレの清掃は、どれくらいの頻度で行えばよいですか。</u></p> <p><u>A 科学的な根拠はありませんが、1日で2、3回くらい、午前、午後と清掃を行えば理想であると言えます。また、消毒も必要ですが常にきれいにしておくことが大切です。</u></p> <p><u>Q 5 階層ごとにスペースをセパレートできればよいですが、避難者の数によっては難しくなることもあります。そのような時は、同階層であっても1教室程度の間隔をあければ感染リスクは軽減となりますか。</u></p> <p><u>A リスクは軽減されますし、動線も、お互いが交わらない方がなおよいです。発熱者等専用スペースはできるだけ、端の方にすることが望ましいです。</u></p> <p><u>Q 6 運営者は、発熱者や具合の悪い避難者の対応が必要になると考えますが、マスクとニトリル手袋の着用ですか。</u></p> <p><u>A そのほか、ビニール製の前垂れみたいものを着用すれば、より感染リスクが軽減できます。対応後は必ず手指の消毒をするとよいです。</u></p>

改正後	改正前
	<p>3 閉鎖時の消毒等現状復帰</p> <p>Q 7 教室等避難スペースの消毒はどうすればよいですか。</p> <p>A 消毒液の噴霧は、消毒効果としては不十分であるし、ウイルスを吹き飛ばすことにも繋がり、かえって逆効果です。触れた箇所を拭くことが重要です（アルコール、次亜塩素酸ナトリウム、界面活性剤等）。</p> <p>Q 8 消毒の範囲について、壁を消毒する必要がありますか。</p> <p>A 新型コロナウイルスにおいては、医療機関内であっても、床の消毒は不要とされています。（嘔吐等があれば消毒を実施する。）足から感染するということは考えられません。床・壁は清掃してきれいにしておくだけでよいです。また天井の消毒も不要です。まずは、人の触りやすいドアノブやトッテなどを消毒し、余裕があればその他気になる場所を消毒しましょう。</p> <p>Q 9 避難所での発熱者専用スペースで発生したごみの処分はどうすればよいですか</p> <p>A 普通ゴミは、通常通りの処分方法で構いません。ただし、ゴミ袋の口を縛るときにはマスクの着用と手袋は必須であり、中から空気が出ないように注意が必要です。</p> <p>4 その他</p> <p>Q 10 避難者が所持していた傘等に着いた水滴には感染リスクがありますか</p> <p>A 水滴等の影響は考えなくてもよいです。心配なのは口から出たものです（吐しゃ物等）。雨で濡れた箇所は雑巾で拭けばよく、廃棄も通常で構いません。</p> <p>Q 11 感染したばかりの患者から、14日間経過間近で治りかけの患者へは感染リスクはありますか。</p> <p>A 治りかけの患者には免疫ができていますので感染するリスクは少ないです。</p> <p>Q 12 猫から猫の感染は確認があるが、ペットからの感染リスクはありますか。</p> <p>A 猫から猫の感染は確認されていますが、現時点では、猫から人間へ、人間から猫への感染があるのかは分かっていません。あったとしても稀であると思われます。</p> <p>Q 13 陽性の避難者が避難した教室で空調を使うと、空調にはウイルスが残るリスクはありますか。</p> <p>A 空中にウイルスが舞うことは通常的环境条件であればほとんどないので、空調への影響はありません。</p> <p>Q 14 健常者のスペースではソーシャルディスタンスを保つ必要はありますか。</p> <p>A 面積や避難者数に応じて、理想ではテーブル等で1～2メートルの間隔をとればよいです。</p> <p>Q 15 部屋の湿度は、新型コロナウイルス感染症に影響はありますか。</p> <p>A 直接の影響はないので避難者が快適に過ごせる湿度にしても構いません。</p>

改正後

改正前

削除

用語集

用語	説明
各避難所運営マニュアル	・避難所運営マニュアル～地震対策編～ ・風水害時の緊急避難場所運営マニュアル(標準例)
自宅療養者	PCR検査で陽性反応の診断を受けているが、軽症又は無症状であるため、自宅療養中の者
発熱・体調不良者	発熱、咳等の症状がある者
濃厚接触者	・陽性者と同居あるいは長時間の接触があった者 ・1メートル程度の距離で、必要な感染予防策なしで、陽性者と15分以上接触があった者
陽性者	PCR等検査を受けて陽性と診断された者 基本的には避難所には避難しないよう整理しているが、震災時は、避難する可能性もある。
要配慮者	高齢者、障害者、基礎疾患を有する者及び妊産婦
3密	密閉、密集、密接
ソーシャルディスタンス	社会的距離。人との間隔を1m～2m開ける。
専用スペース	受付で、避難者を健康チェックリストに基づき、「健常者」、「要配慮者」、「発熱・体調不良者」、「濃厚接触者」の4つのゾーンに振り分けを行うが、それぞれの避難スペースを総じて専用スペース(例教室、体育館等)としている。
感染防護衣	フェイスガード、サージカルマスク、サージカルガウン、ニトリル手袋 等

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減するための

## 「4つ」のお願い

- 1 マスクは必ず着用してください。



- 2 手洗い・手指の消毒を適宜してください。



- 3 できるだけ、会話はお控えください。



- 4 学校（避難場所）を清潔に使用してください。



よろしく申し上げます



改正後

改正前

新型コロナウイルス感染症対策 主な備蓄物資配備一覧

令和2年10月現在

<u>品名</u>	<u>数量</u>	<u>仕様等</u>
<u>非接触型体温計</u>	<u>1本</u>	<u>1秒検温(追加配備予定有)</u>
<u>手指用消毒液</u>	<u>19本</u>	
<u>施設用消毒液</u>	<u>5本</u>	<u>(予定)</u>
<u>マスク</u>	<u>50枚入</u>	<u>個包装(20箱購入予定)</u>
<u>ニトリル手袋</u>	<u>50組</u>	<u>(2箱購入予定)</u>
<u>ハンドソープ</u>	<u>10本</u>	<u>(予定)</u>
<u>フェイスシールド</u>	<u>30枚</u>	<u>(追加購入予定)</u>
<u>ポンチョ(ガウン代替品)</u>	<u>20着</u>	<u>薄手のビニール製</u>
<u>ペーパータオル</u>	<u>200枚入</u>	<u>トイレに配置(20箱購入予定)</u>
<u>キムタオル(清掃用)</u>	<u>150枚入</u>	<u>施設用消毒に使用(予定)</u>
<u>テント ※</u>	<u>5基</u>	<u>ポップアップ式テント(予定)</u>
<u>簡易ベッド ※</u>	<u>5台</u>	<u>折り畳み式 (予定)</u>

※は、発熱・体調不良者、健康(経過)観察者に使用を予定しています。